



10月は「がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間」・「ピンクリボン月間」です

今年のがん検診のご予約はお済みでしょうか？

2人に1人が生涯において一度はがんになると推計されており、禁煙、健康的な食事、適度な運動といった生活習慣の改善で、ある程度予防はできますが、ゼロにはなりません。そこで、重要なポイントとなるのが「早期がん」の状態で見つけてあげるために、がん検診を受けることです。

「早期」とは、がんの種類にもよりますが、がんが粘膜の表面近くにとどまっている、大きさ1～2cm程度までの時期を指し、ほとんどのがんで痛みなどの自覚症状が出ません。「早期がん」を見つけるには、がん検診を受けることが近道です！そして、「早期」の治療につなげましょう。

自分のため、家族のために検診にいきましょう！
ラインでは24時間いつでもご予約を受け付けられます！

乳がんのセルフチェックをしていますか？

本市では、毎年1～2人程の方が乳がんで亡くなられています。

乳がんは、自分で発見できる唯一のがんです。月経終了4～5日目、閉経後は月初めやお誕生日など日にちを決めて、セルフチェックを行いましょう。

ちょっとでも違和感を感じたら、早めの医療機関受診をお願いします。

乳がんの
セルフチェック？
どうやって？



乳がん セルフチェック

令和7年度の高齢者定期予防接種が始まります！

今年度も本市では、予防接種法に基づき、インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の予防接種の助成を行います。予防接種の効果と副反応についてご理解のうえ、接種をご検討ください。

★対象の予防接種

・インフルエンザ ・新型コロナウイルス感染症

★接種期間

インフルエンザ

令和7年10月1日(水)から令和8年1月31日(土)まで

新型コロナウイルス感染症

令和7年10月1日(水)から令和8年2月28日(土)まで

★対象者

本市に住民票があり、接種日に次の①または②に該当する方。
①65歳以上の方(65歳の誕生日前日から対象になります。)
②満60歳以上満65歳未満の方で、心臓、腎臓、または呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活が極度に制限される方、ヒト免疫不全ウイルス(HIV)による免疫の機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方。

★接種回数

それぞれ1回ずつ(同時接種が可能です。希望される場合は、かかりつけ医にご相談ください。)

★接種料金

インフルエンザ:1,400円

新型コロナウイルス感染症:4,500円

※生活保護世帯の方は、医療機関に生活保護受給証明書を提出することで無料になります。

★接種時に必要な物

- ①本人確認ができるもの(マイナ保険証、運転免許証など)
 - ②接種料金 ③健康手帳
- ※医療介護課健康増進係または各支所の窓口で発行できます。

★串間市内の接種できる医療機関

※事前に医療機関へのご予約をお願いいたします。

インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症の両方実施			
医療機関名	電話番号	医療機関名	電話番号
はなぶさ消化器・内視鏡クリニック	74-1187	県南病院	72-0224
のだ小児科医院	71-1112	いな内科・循環器科	71-1711
岡村クリニック	72-7710	串間中央クリニック	27-3181
とめのファミリークリニック	76-1425	串間市民病院	72-1234
市木診療所	77-0349		
インフルエンザのみ実施			
アイレHDクリニック串間	55-8181		

※串間市外の医療機関でも、宮崎県内の医療機関であれば接種できる場合があります。希望される場合は、医療機関にお問い合わせください。

※県外医療機関での接種費用については助成対象外となります。
やむを得ない事情により県外医療機関での接種を希望される場合は、必ず事前にお問い合わせ先までご相談ください。

～市民病院からのお知らせ～

問 串間市民病院 ☎72-1234

串間市民病院検査室のご紹介

串間市の皆さまこんにちは。

今回は、市民病院の検査室で行っている検査の種類と検査を受ける時に気を付けることについてお話ししていきます。

検査室は、患者さまから採血された血液や尿などの検体を分析する検体検査と患者さま自身の体の機能を調べる心電図などの生理検査を行っており、診療の補助になる情報を提供する部門になります。

市民病院では、現在、臨床検査技師4名(男性1名、女性3名)で分担して業務を行い、緊急時にもオンコールで24時間いつでも検査できる体制をとっています。

検査の種類

(串間市民病院の検査室で主に行っている検査)

検体検査

- 生化学検査…肝機能・腎機能・脂質・糖などを調べます。
- 血液検査…赤血球・白血球・血小板の数を測定し、炎症反応や貧血を調べます。
- 輸血検査…ABO式血液型の判定や輸血時の血液製剤との適合性を調べます。
- 一般検査…尿や便の成分を観察して、糖尿や血便になっていないか調べます。

※採血時に赤血球が壊れて溶血が生じることがあります。溶血は複数の検査項目に影響を及ぼすため、正確な診断を行うために、患者さまに再度採血をお願いすることがございます。

検査を受ける時の注意点

- 採血がある患者さまは、食事が検査値に影響を与える項目もあるので、絶食が必要かどうか事前に確認してください。運動でも高値になる項目がありますので、過度の運動はさけて安静にしてください。
- ピロリ菌の検査がある患者さまは、6時間の絶食が必要です。水分(お茶・お水)は2時間前までは飲むことができます。
- 心電図など体に器具をつける検査のある患者さまは、着替えやすい服装でお越しください。
- アルコールやテープにかぶれる方は、採血前にお申し出ください。

※念のため、こちらからの確認もいたします。

生理検査

- 心電図…心臓の微弱な電気信号をひろって、心筋梗塞・不整脈などを調べます。
- 呼吸機能検査…息をすったり、吐いたりしてもらい、肺の機能を調べます。
- エコー検査…体の表面から超音波をあてることで、画像上で病気を見つけることができます。
- 動脈硬化(ABI・CAVI)検査…両腕・両足の血圧を同時に測定して動脈の硬さや詰まりの程度を調べます。
- 眼底カメラ…目の血管の変化をみて、糖尿病網膜症や白内障など目の病気が分かります。
- PSG検査…睡眠時無呼吸の検査

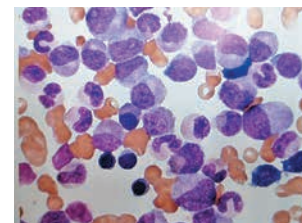
市民病院ではご自宅での検査が可能な、簡単な機械を取り扱っています。昼間の眠気やいびきの症状が気になる方は、内科を受診して医師にご相談のうえ、検査をご検討いただければいかがでしょうか？

細菌検査

- 細菌を染色…培養して病気の原因になっている菌を見つけます。



血球を顕微鏡で見ている様子



顕微鏡で見た血球の写真

左記のような説明がなかった場合でも、前日からの暴飲暴食、過度のアルコールの摂取はさけて検査を受けてください。

市民病院検査室では、平均すると1日に約80名分の検体検査、20～30名の生理検査を行っています。基本的には受け付けした順番で測定しています。※検査の種類によって前後することもあります。

採血から検査値の報告までは1時間程度を目安にしていますが、検体数が多い日や異常値が出た時の再検査、測定機器の不具合などがあった場合はさらにお時間をいただくこともあります。検査の待ち時間が長いと感じられましたら、近くのスタッフまたは検査室にお声かけください。

串間市民病院 検査室